

今年も読書週間（10月27日（木）～11月9日（水））がやってきました。今年の標語は「この一冊に、ありがとう」。皆さんは、そんな1冊に出会ったことがありますか？ ある人もない人も、この機会に図書館に立ち寄り、1冊手に取ってみたいはかがでしよう。世界が広がるはずです。

読書週間とは？



終戦の2年後の1947年（昭和22年）、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合

わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）となったのは、第2回からです。

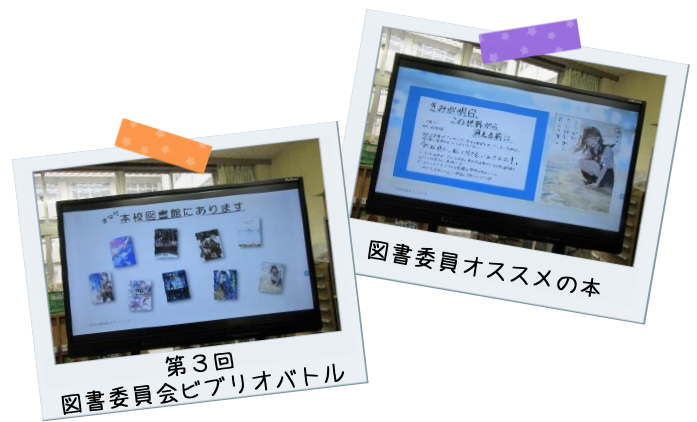
それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。

（「公益社団法人読書推進運動協議会」HPより）

本選びのお供に

昼休み、図書室では「ビブリオバトル」「図書委員オススメの本」等のスライドが流れています。本選びの参考になさってください。



古本等提供のお願い

鵬翼祭において、図書委員会では古本等の販売を行う予定です。いらなくなった本等ございましたら、司書室までお持ちください。

受付期間：10月31日(月)まで

受付場所：司書室

受付内容：小説・実用書(内容が古くないもの)・マンガ・雑誌(2022年1月号以降のもの)・CD・DVD・BD

※販売できないと判断したものについてはご提供をお断りする場合があります。

